

離散数学への入門 正誤表(初版第2刷)

	ページ	該当箇所	誤	正
1	13	1行目	含意 $p \rightarrow q$ が成立するとき、	含意 $p \rightarrow q$ が成立する( $p \rightarrow q = T$ )とき、
2	16	[7](4)	$p \text{ xor } y$	$p \text{ xor } q$
3	17	11](4)の末尾(追加する)		(少しとまどうかもしれないが、「連続する12個の数字を時計の文字盤のように円状に並べる」というのを問題の背景とみなし、「1~12の数字を円状に並べると隣り合う3つの数字の和には20以上のものがある」を条件付き命題と考えると、分りやすい。)
4	31	[13]	(2.37) - (2.50)	(2.38) - (2.51)
5	33	[24] 1行目	A,B,C,D,Eの5人がクリスマスに1つずつ持ち寄ってプレゼント交換会を	A,B,C,D,Eの5人がクリスマスにプレゼントを1つずつ持ち寄って交換会を
6	64	コラム2段落目	プログラムが再帰的構造をとっているとき、入力によってはそれが帰納法の公理からはずれてしまうことがあると循環したり発散したりしてしまう。	プログラムが再帰的構造をとっているとき、たとえば、カウンタ(帰納法のに相当するもの)をゼロまでカウンタダウンして再帰回数を制御しているとき、カウンタの初期値がたまたま良の値になって終了しなくなることがある。これはその入力に対してはアルゴリズムが帰納法の公理(定義)に従っていないためである。再帰の制御に失敗すると、一般には循環したり発散したりしてしまう。
7	65	4,5行目	$e^2$ を代入して合成した関数は $\dots(f(g^{-1} \cdot e^2 \cdot x^1 \cdot x^2), (g^2 \cdot x^1 \cdot x^2))$	$e$ をイタリックにする
8	66	[12]	$F(1)=3, G(1)=2$	$F(1)=2, G(1)=1$
9	72	4行目	ベットの関係もそれと同じようにすれば	ベットの関係を図に描くと
10	73	例5.5	(e,b)	(e,d)
11	74	例5.6	例5.6の解のRの3行目 1 1 0 0	1 0 0 1
12	82	上から3行目	14通り	15通り
13	158	図9.10の(b)(d)の値	図9.10の(b)の行列の4行目 0 1 0 1 2	0 1 0 0 2
14	166	[2]と[4]問題文	ただし、関係行列の積、和は、それぞれ行列のブール和、行列のブール積とする。	ただし、関係行列の和、積は、それぞれ行列のブール和、行列のブール積とする。
15	167	[5]の問題	図(b)	図の(b)に矢印を付ける。 A→E B→F
16	190	下から11行目の英	最右端 )))))(6つ)	)))))))(7つ)
17	192	[12](4)	((a,b,(0)),(c,(d,e)),(f,g)))(右括弧3つ)	((a,b,(0)),(c,(d,e)),(f,g))(右括弧2つ)
18	193	[19]問題文の最後	項はすべて $x$ で表す。 $x$	$x$ の書体をイタリックにする。
19	197	解答[1](4)	合格しなかったし、授業に遅刻しました。	合格しなかったし、遅刻しなかった。
20	197	解答[1](6)	合格しなかったので、	合格したので、
21	197	解答[1](6)または	合格しなかったので、授業に遅刻した。	または、授業に遅刻しなかった。
22	198	[11](4)	解釈に多様性があるが、連続した12個の数字を円状に並べるとは問題の前提(たとえば(1)の素数条件のようなもの)と考えるのがよいだろう。そうすると、前件は1~12の数字、後件は20を超える、として、	順命題は、「1~12の数字を円状に並べる」ならば「隣り合う3つの数字の和に20以上のものがある」、ということだから、要は、前件は1~12の数字、後件は20を超える、である。したがって、
23	199	[3](3)の路解	$C = \{z   m \in N, n \in N, m > n, z = m^2 + n^2\}$ (これは、一般に、 $m, n$ を任意の自然数として、 $x = m^2 - n^2, y = 2mn, z = m^2 + n^2$ とあらわせることを利用した)	(3) Cの要素を隣に表すのは結構大変なので、ことばによる説明だけでよい。もし、 $m, n$ を自然数として、 $x = m^2 - n^2, y = 2mn, z = m^2 + n^2$ と表せることを知っていれば、 $C = \{z   m, n \in N, m > n, z = m^2 + n^2\}$ と書くことができる。
24	202	[19]解答	$8^4=512$ (2) $4^4-1=195$ (3) $5 \cdot 4 \cdot 3 - 1 = 59$	$8^4=4096$ (2) Aの各要素がBの要素1つ以下に対応するから、 $4^4-1=255$ (3) 1対1対応が1組(4×3通り)、2組(4×3)×3通り、3組(4×3×2)通り、計72通り
25	202	[20]解答	$4^4-1 = 195$	$4^4-1 = 255$
26	203	[7]解答(2)	$(a_n^2 - 2)/2$	$(a_n^2 - 2)/2a_n$
27	211	[10]p211解答(3)	よって、 $k+1$ 本以上の辺がある。	よって、 $k$ 本以上の辺がある。
28	214	[4]p211解答	6節点:19種、7節点:45種	6節点:20種、7節点:48種
29	214	[6]	AとDは直接対戦をしていないが、AがCの上位であり、CがDの上位であることから、推移的にAはDの上位である。	CとBは直接対戦をしていないが、CがAの上位であり、AがBの上位であることから、推移的にCはBの上位である。
30	215		$(x+(x+x) \times x) + (x \times x + x \times x)$	$x + (x+x) \times x + (x \times x + x \times x)$ , $(x + ((x+x) \times x)) + ((x \times x) + (x \times x))$